



特集

疑問を持つことから始めよう！

——身近な例から考える男女共同参画社会——



地域活動の役員やPTAの役員など、私たちは生活の中でいろいろな役割を担います。その役割分担には性別による偏りがあることに、皆さんは気付いていますか？ この機会に「男女が偏るのはなぜだろう？」「本来はどうあるべきだろうか？」と考えてみませんか。

■問い合わせ＝本庁地域づくり推進課（江刺総合支所・内線 321）

奥州太郎くんは市内に住む小学4年生。小学6年生のお姉さんとお父さん、お母さんの4人家族です。ある日、テレビを見ながら、お父さんとお母さんがこんな会話を交わしていました。



「アメリカ初の女性大統領は誕生しなかったね」



「ガラスの天井と呼ばれる女性の活躍を阻む見えない障壁があるのよ」



「日本も総理大臣は男ばかりだね。他にも“長”が付く役職は男が多い。性別による役割分担意識があるのかな」



「このままでいいのかしら？ 男女共同参画社会の実現は簡単じゃないわ」



？ 女の人だから、リーダーになれないなんていうことがあるんだろうか？ お姉ちゃんに聞いてみよう！



「そんなことないと思うわ。だって、うちの学校の児童会長は女の子よ」



「そうだね！ じゃあなぜ総理大臣は男の人ばかりなんだろう？」



「男女共同参画社会について勉強してみたらなにか気付くかもしれないよ」



！ 「男女共同参画社会！？」 そういえばお母さんも話していたな」

男女共同参画社会に興味を持った奥州太郎くんなのでした。



小型の溶解炉「甌(こしき)」から溶けた鉄を取り出す春樹さん(写真右)

金属の表面にガラス質の被膜を焼き付ける「ホーロー」。色彩と耐蝕・耐熱性に優れ、食器や浴槽などに用いられるが、鋳物で行った場合、被膜に泡ができ不良品が生じるという特有の問題がある。

研究会での活動を通じ大学との交流が深まる中で「伝統的技法だけでなく、科学的な目と技術も必要」と考えた。「研究成果を生かしてホーローの不良品を減らし、きれいでさびにくい、時代に合わせた商品ができれば」と語る春樹さんは、今も製造工程全てに携わっている。

「危険で大変な仕事だと思う人もいるだろうが、ものづくりの楽しさや達成感、喜びを伝えていきたい」と、鋳物への熱い思いを胸に秘め、今日も第一線に立ち続ける。

キラリ輝く
奥州人
38

及川春樹さん（47歳）
水沢区羽田町字明正

ものづくりの技術と 喜びを次の世代に



おいかわ・はるき◎昭和44年、水沢区生まれ。通信制大学を中退し、米国でオートバイのメカニック技術を習得。バイク部品メーカー、修理会社を経て平成12年、㈲及春鋳造所に入社。現在は取締役専務を務める

《今月の表紙》



子どもの未来を育てる「群」の会（佐々木恵好会長）の創立30周年事業の一つとして、巨大クジラバルーンづくり体験が11月12日、市総合体育館（Zアリーナ）で開催されました。科学を通じたさまざまな体験で、子どもたちの自立心や協調性を助長する目的で取り組まれたこの事業。根気のいる作業を32人の小学生が協力し、全長25mの巨大クジラを作り上げました。

天井を下から突き上げるように高さ10mに達した巨大クジラはど迫力！ 子どもたちの歓声の大きさが、その雄大さを物語っていました。



広報おうしゅう
Public Relations Magazine

Oshu City

Vol.130

2016

12

CONTENTS

- キラリ輝く奥州人
- 【特集】疑問を持つことから始めよう！
——身近な例から考える男女共同参画社会——
- 市勢功労表彰
- 新年交賀会
市への寄贈
- 財政状況の公表
- 旧土地開発公社土地の処分
活用状況
市奨学金申請の受け付けを開始
- 年末年始情報
- 百歳おめでとう
- 奥州の秋まつり
- 大使の横顔 Oshu Ambassador
- まちの話題
- 市政ブームイン
- 夢トーク
青春讃歌
- 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- トマス・アンナの あんなこと
こんなこと
姉妹都市 掛川だより
- 情報あらかると
- 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市